

## 食文化に学び 発想力磨く

松山東雲女子大・短大 伯方塩業と協定



連携包括協定を結んだ高橋圭三学長(左)と石丸一三社長=14日午前、松山市桑原3丁目

松山東雲女子大・短期大(松山市)と伯方塩業(同)は14日、食を通じた人材育成などに関して連携する包括協定を結んだ。

大学によると、伯方塩業は2012年ごろから、短期大のキャリア教育に協

力。「塩ゼミ」を開講し、20年度には伯方の塩を使った「塩生キャラメル大福」を共同開発するなど関係を築いてきた。

今回の協定では「人材育成」「食を通じた健康の増進」など6項目で連携。

これまでの取り組みを継続しつつ、22年度からは女子大を含む全学生を対象とした共通カリキュラムの中で塩に関する基礎講座などを開く予定としている。

同市桑原3丁目の松山東雲女子大・短期大であった調印式では、高橋圭三学長と石丸一三社長が協定書にサイン。高橋学長は「学生には日本の食文化に欠かさない塩を通して、将来に生かせる柔軟な発想を磨いてほしい」と語り、石丸社長は「これまでの続きではなく新たな気持ちで、社会に出たときにプラスになるような取り組みをやっていきたい」と意気込んだ。

(増田有梨)